

令和6年度 埼玉県特別支援教育研究会総会 次第

令和6年6月14日(金)
埼玉大学教育学部附属特別支援学校

1 開会

2 会長あいさつ

3 来賓紹介および祝辞

4 議長選出

5 議事

(1) 第1号議案 令和5年度事業報告 P.1

(2) 第2号議案 令和5年度会計報告 P.2~3

(3) 第3号議案 令和6年度役員承認 P.4

・会長あいさつ

(4) 第4号議案 令和6年度事業計画案 P.5

(5) 第5号議案 令和6年度予算案 P.6~7

6 諸連絡

・R6以降の研究協議会分科会とローテーション表

・第63回 埼玉県特別支援教育研究会 川口大会

・第58回 全日本特別支援教育研究連盟 関東甲信越地区特別支援教育研究協議会 千葉大会

・第63回 全日本特別支援教育連盟全国大会 福井大会

7 記念講演 「特別支援教育の現状と課題」(仮題)

埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課 大澤英俊 様

8 閉会

令和5年度 事業報告

1 研究活動方針

令和の新たな時代を迎え、特別支援教育の推進は、特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校ではもちろんのこと、幼稚園、小・中学校、高等学校の全ての学校において、なお一層その重要性が増してきている。

平成の時代より、障害者の権利に関する条約が批准されるとともに、障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システム構築の動きが加速している。各学校においては必要な幼児児童生徒に合理的配慮の提供が求められ、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善の取組が進められている。

本研究会では、特別支援学級における教育課程や学級経営の在り方をはじめ、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な幼児児童生徒への指導・支援などの課題を明らかにし、その解決策について、研究協議を行ってきている。さらに、幼小中高特全ての学びの場において、全ての教職員が特別支援教育を理解し、実践できるように寄与したい。

これらのことを踏まえ、私たちはより高い専門性を身に付けるとともに、幼児児童生徒が志をもち夢と自信に満ちて社会で活躍できるよう、自立に向けた指導・支援を推進する必要がある。

本研究会は、これらの特別支援教育推進に係る諸課題解決に向け、学校及び教職員が抱える今日の課題を踏まえて研究を推進する。そして、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実を目指して、全国大会の成果を活かし、教職員の指導力の向上と本県特別支援教育の振興に寄与する。

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて ～全特連埼玉大会の成果のまとめ～

- 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
- 全特連埼玉大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

2 事業計画

(1) 令和5年度(2023)総会

令和5年6月16日(金) オンライン
埼玉大学教育学部附属特別支援学校

(2) 第52回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会 第55回全国情緒障害教育研究協議会全国大会 埼玉大会

日時 令和5年7月27日(木) 28日(金)
場所 ソニックシティ
内容 全体会 記念講演 分科会

(3) 第63回埼玉県特別支援教育研究協議会

内容 知的部門 web 発表 狭山市主催
令和6年1～2月

(4) 第51回埼玉県特別支援教育研究発表大会

冬の研究セミナー オンライン開催
日時 令和5年12月27日(水)

(5) 提案者等推薦

第57回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会栃木大会(8/4:対面開催)

第4分科会「各教科等を合わせた指導」

提案者 吉川市立美南小学校 伊村唯 教諭

司会者 幸手市立西中学校 島田浩 教諭

(6) 研究委嘱

年度	学校名	研究主題
4 ・ 5 年度	新座市立第三中学校	生徒の言語理解を支えるICTを活用した支援方法の研究
	吉川市立美南小学校	自立と社会参加を目指した授業づくり

(7) 後援事業

- ・埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会
令和6年2月10日(土) オンライン
- ・埼玉純真短期大学 研究セミナー
令和5年11月11日(土) 対面開催

(8) 研究部活動

- ・難聴・言語障害教育研究部会
- ・発達障害・情緒障害教育研究部会
- ・特別支援学校部会

(9) 会報の発行 ・第56集(令和6年3月発行)

(10) 理事・役員研究協議会

- 第1回役員研究協議会 令和5年5月11日(木) 対面開催
- 第1回理事研究協議会 令和5年6月16日(金) オンライン
- 第2回理事役員研究協議会 令和5年7月6日(木) 役員対面 理事オンライン
- 第3回理事役員研究協議会 令和5年12月1日(金) 役員対面 理事オンライン

(11) その他の事業

- ・地域・地区特別支援教育研究

令和5年度 埼玉県特別支援教育研究会 会計収支決算報告書

収入の部

科目	5年度予算額	5年度決算額	比較増減	摘要
1 配分金	980,000	980,000	0	埼玉県連合教育研究会
2 繰越金	493	493	0	
3 雑収入	0	2	2	利息
合計	980,493	980,495	2	

支出の部

科目	5年度予算額	5年度決算額	比較増減	摘要
(a) 研究大会費	500,500	555,259	△ 54,759	
(1) 謝金	30,000	40,000	△ 10,000	12月冬の研究セミナー
(2) 旅費	0	5,459	△ 5,459	関東大会提案者・司会者交通費
(3) 借料・損料	400,000	400,000	0	全国大会会場費(ソニックシティ)
(4) 資料費	3,000	2,000	1,000	全特連全国大会徳島大会集録代
(5) 通信運搬費	3,000	0	3,000	
(6) ICT運用費	60,000	107,800	△ 47,800	zoom用パソコン
(7) 需用費	4,500	0	4,500	
(b) 研究調査費	120,500	140,857	△ 20,357	
(1) 謝金	35,000	30,000	5,000	発達情緒部補助(研修会講師)
(2) 旅費	0	0	0	
(3) 資料費	35,000	40,845	△ 5,845	研究委嘱2校、難聴言語部補助、全特連全国大会徳島大会集録代
(4) 通信運搬費	3,000	776	2,224	発達情緒部補助
(5) ICT運用費	43,000	69,236	△ 26,236	zoomアカウント年会費 オンラインソフト、発達情緒部補助
(6) 賃金	0	0	0	
(7) 需用費	4,500	0	4,500	
(c) 研究成果刊行	300,000	225,105	74,895	
(1) 資料費	250,000	151,525	98,475	会報印刷
(2) 通信運搬費	50,000	73,580	△ 23,580	会報発送
(3) 需用費	0	0	0	
(d) その他の経費	59,493	58,962	531	
(1) 会議費	1,000	1,470	△ 470	会計監査の交通費、監査書類送付
(2) 事務費	30,000	29,700	300	封筒(長3形)
(3) 雑費	28,000	27,792	208	全特連関東ブロック負担金、振込手数料、特推協会年会費
(4) 予備費	493	0	493	
合計	980,493	980,183	310	
差引残高 収入決算額総計	980,495	円 - 支出決算額総計	980,183	円 = 312 円

差引残高 312 円は、令和6年度に繰り越します。

令和6年 2月21日

埼玉県特別支援教育研究会長

氏名

井上弘江



上記の通り、相違ありません。

令和6年 3月26日

埼玉県特別支援教育研究会

監事 野上 正嗣

埼玉県特別支援教育研究会

監事 小秋元美弥子



令和5年度 埼玉県特別支援教育研究会
特別会計 収支決算書

収入の部

科 目	5年度予算額	5年度決算額	比較増減	概 要
1. 研究助成金	350,000	350,000	0	教育公務員弘済会
2. 配 分 金	55,000	55,000	0	特別支援学校部会
3. 雑 収 入	0	1	△ 1	利息
4. 繰 越 金	7,868	7,868	0	
合 計	412,868	412,869	△ 1	

支出の部

科 目	5年度予算額	5年度決算額	比較増減	概 要
研究大会費	303,000	313,150	△ 10,150	
(1)謝 金	80,000	0	80,000	
(2)資料費	8,000	0	8,000	
(3)通 信	5,000	0	5,000	
(4)需 用	10,000	5,350	4,650	全特連徳島大会参加費 振込手数料・のし袋
(5)ICT運用(借料)	200,000	307,800	△ 107,800	難聴言語部(全国大会会場費) オンライン用パソコン
研究調査費	41,000	45,558	△ 4,558	
(1)謝 金	10,000	0	10,000	
(2)資料費	15,000	29,856	△ 14,856	発達情緒部(研修会ICT運用)
(3)通 信	5,000	144	4,856	発達情緒部(案内郵送)
(4)需 用	11,000	15,558	△ 4,558	難聴言語部(関東難言分担金) 全特連徳島大会参加費・振込手数料 難聴言語部(送金)
研究成果刊行費	11,000	0	11,000	
(1)資料費	5,000	0	5,000	
(2)通 信	5,000	0	5,000	
(3)需 用	1,000	0	1,000	
周年誌積立金	50,000	50,000	0	
予 備 費	7,868	0	7,868	
総 計	412,868	408,708	4,160	

残金4,161円は令和6年度へ繰り越します。

令和6年3月13日

埼玉県特別支援教育研究会 会長 井上 弘江



監査の結果、相違ないことを認めます。

令和6年3月26日

埼玉県特別支援教育研究会

監事 野上 正嗣



監事 小秋元美弥子



令和6年度 埼玉県特別支援教育研究会 役員名簿（案）

No	役職名	氏名	所属（役職）		
1	顧問	細渕 富夫	埼玉大学名誉教授	（学科長・教授）	
2	参与	名越 斉子	埼玉大学教育学部	（教授）	
3		中沢 政人	県教育局県立学校部特別支援教育課	（課長）	
4		小山 悟	吉川市立吉川美南小学校	（元会長）	
5		内河水穂子	埼玉大学教育学部	（前会長）	
6	会長	井上 弘江	幸手市立長倉小学校	（校長）	
7	副会長	新井由美子	深谷市立岡部小学校	（校長） 北部地区	
8		古橋 立哉	越谷市立平方小学校	（校長） 東部地区	
9		関口 循子	富士見市立関沢小学校	（校長） 西部地区	
10		嶋田 弘之	草加市立新田小学校	（校長） 南部地区	
11		入澤真理香	さいたま市立さくら草特別支援学校	（校長） さいたま市	
12		櫻井 秀子	川口市立芝小学校	（校長） 設置校長会	
13		佐藤 和博	県立浦和特別支援学校	（校長） 特学校・校長会	
14		鈴木 暁	県立熊谷特別支援学校	（教頭） 特学校・教頭会	
15	監事	野上 正嗣	さいたま市立日進小学校	（校長）	
16		増山 温子	県立蓮田特別支援学校	（校長）	
17	幹事	研究	平田 祐也	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	（教諭） 事務局長
18			大崎由香里	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	（教諭） 事務局
19			柳瀬 貴之	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	（教諭） 事務局
21			仙石 大吾	県立川口特別支援学校	（主幹教諭） 事務局補佐
22		庶務	杉浦 里奈	熊谷市立熊谷西小学校	（教諭） 発番・通知
23			福田 桂子	さいたま市立大宮南小学校	（教諭） 理事名簿
24			大月 康子	さいたま市立大宮北小学校	（教諭） 理事名簿
25			高橋 達樹	県立浦和特別支援学校	（教頭） 特別支援学校部会庶務
26		会計	中野 良	県立熊谷特別支援学校	（教諭） 特別支援学校会計
27			海老沼幸子	越谷市立越ヶ谷小学校	（教諭） 教科研究会会計 ・特別会計
28	新屋 真澄		吉川市立吉川小学校	（教諭） 全特連会計	
発達情緒部会・難聴言語部会					
29	発達・情緒部長	柴崎ひとみ	草加市立八幡小学校	（教諭）	
30	発達・情緒副部長	上野 恭子	所沢市立並木小学校	（教諭）	
31	難言部事務局	高野 智樹	上尾市立芝川小学校	（教諭）	

令和6年度事業計画(案)

1 研究活動方針

平成の時代より、障害者の権利に関する条約が批准されるとともに、障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システム構築の動きが加速している。各学校においては必要な幼児児童生徒に合理的配慮の提供が求められ、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善の取組が進められている。

令和の時代においても、学習指導要領の改訂に伴い、特別支援学校と小学校等の各教科の目標や内容の連続性・関連性が整理されたことや、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加していることなどから、特別支援教育の推進は、特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校ではもちろんのこと、幼稚園、小・中学校、高等学校の全ての学校において、なお一層その重要性が増してきていると言える。そのため、私たちはより高い専門性を身に付けるとともに、幼児児童生徒が志をもち夢と自信に満ちて社会で活躍できるよう、自立に向けた指導・支援を推進する必要がある。

本研究会では、特別支援学校・特別支援学級における教育課程や学級経営の在り方をはじめ、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な幼児児童生徒への指導・支援などの課題を明らかにし、その解決方策について、研究協議を行ってきた。さらに、幼小中高特全ての学びの場において、全ての教職員が特別支援教育を理解し、実践できるようにしたいと考えている。特別支援教育推進に係る諸課題解決に向け、学校及び教職員が抱える今日的課題を踏まえて研究を推進し、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実を目指して、これまで開催してきた研究協議会の成果を活かし、教職員の指導力の向上と本県特別支援教育の振興に寄与する。

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて

- 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
- 全特連埼玉大会・全難言協全情研全国大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

2 事業計画

- (1) 令和6年度(2024)総会
令和6年6月14日(金)
埼玉大学教育学部附属特別支援学校

- (2) 第64回埼玉県特別支援教育研究協議会
日時 令和6年8月6日(火)
場所 川口市立桜町小学校(ホスト)
開催方法 オンライン開催

全体会：オンライン配信、一部集合
分科会：8分科会、オンライン協議

- (3) 冬の研究セミナー
日時 令和6年12月27日(金)

- (4) 提案者等推薦
第58回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会千葉大会(8/23：対面開催予定)
第5分科会「各教科等を合わせた指導」
提案者 坂戸市立桜小学校 西田智子教諭
司会者 坂戸市立桜小学校 松本ゆかり教諭

第63回全日本特別支援教育連盟全国大会
福井大会(11/21・22)
第7分科会「各教科等を合わせた指導」
提案者 八潮南高等学校 鈴木久就教諭

- (5) 後援事業
 - ・埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会
令和6年12月14日(土)
 - ・埼玉純真短期大学 研究セミナー(未定)

- (6) 研究部活動
 - ・難聴・言語障害教育研究部会
 - ・発達障害・情緒障害教育研究部会
 - ・特別支援学校部会

- (7) 会報の発行 ・第57集(令和7年2月発行)

- (8) 理事・役員研究協議会
 - 第1回役員研究協議会 令和6年5月9日(木)
 - 第1回理事研究協議会 令和6年6月14日(金)
 - 第2回理事役員研究協議会
令和6年7月5日(金)
 - 第3回理事役員研究協議会
令和6年11月29日(金)

- (9) その他の事業
 - ・地域・地区特別支援教育研究会への支援

令和6年度 埼玉県特別支援教育研究会 会計収支予算報告書 (案)

収入の部

	6年度予算額	5年度予算額	比較増減	摘要
1 配 分 金	580,000	980,000	△ 400,000	R5は全国大会 (難言部)
2 繰 越 金	312	493	△ 181	
3 雑 収 入	0	0	0	利息
合 計	580,312	980,493	△ 400,181	

支出の部

	6年度予算額	5年度予算額	比較増減	摘要
(a) 研 究 大 会 費	135,000	500,500	△ 365,500	
(1) 謝 金	40,000	30,000	10,000	冬の研究セミナー
(2) 旅 費	10,000	0	10,000	全特連関東ブロック大会発表者・司会者
(3) 借 料 ・ 損 料	0	400,000	△ 400,000	
(4) 資 料 費	2,000	3,000	△ 1,000	全国大会集録代(会長分)
(5) 通 信 運 搬 費	3,000	3,000	0	県大会に係る依頼文書発送
(6) I C T 運 用 費	75,500	60,000	15,500	研究大会用機材
(7) 需 用 費	4,500	4,500	0	全特連全国大会・関東甲信越大会参加費
(b) 研 究 調 査 費	115,000	120,500	△ 5,500	
(1) 謝 金	30,000	35,000	△ 5,000	発達情緒部補助
(2) 旅 費	0	0	0	
(3) 資 料 費	24,000	35,000	△ 11,000	難聴言語部補助・発達情緒部補助 ・全国大会集録代(事務局)
(4) 通 信 運 搬 費	1,000	3,000	△ 2,000	研究協議会の開催承認願、講師連絡
(5) I C T 運 用 費	55,500	43,000	12,500	研究協議会用機材
(6) 賃 金	0	0	0	
(7) 需 用 費	4,500	4,500	0	全特連全国大会・関東甲信越大会参加費
(c) 研 究 成 果 刊 行	270,000	300,000	△ 30,000	
(1) 資 料 費	200,000	250,000	△ 50,000	会報印刷
(2) 通 信 運 搬 費	70,000	50,000	20,000	会報発送
(3) 需 用 費	0	0	0	
(d) そ の 他 の 経 費	60,312	59,493	819	
(1) 会 議 費	2,000	1,000	1,000	会計監査の交通費
(2) 事 務 費	30,000	30,000	0	封筒
(3) 雑 費	28,000	28,000	0	全特連関東ブロック負担金 ・振込手数料
(4) 予 備 費	312	493	△ 181	
合 計	580,312	980,493	△ 400,181	

令和6年6月14日

埼玉県特別支援教育研究会長 氏名 井上弘江

令和6年度 埼玉県特別支援教育研究会
特別会計 収支予算案

収入の部

科 目	6年度予算額	5年度予算額	比較増減	概 要
1. 研究助成金	150,000	350,000	-200,000	教育公務員弘済会
2. 配 分 金	55,000	55,000	0	特別支援学校部会
3. 雑 収 入	0	0	0	
4. 繰 越 金	4,161	7,868	△ 3,707	
合 計	209,161	412,868	△ 203,707	

支出の部

科 目	6年度予算額	5年度予算額	比較増減	概 要
研究大会費	92,000	303,000	△ 211,000	
(1)謝 金	60,000	80,000	△ 20,000	研究協議会 特別講演、シンポジウム 発表等、分科会原稿料
(2)資料費	6,000	8,000	△ 2,000	全国大会・関プロ大会資料代
(3)通 信	1,000	5,000	△ 4,000	文書発送・郵送料
(4)需 用	10,000	10,000	0	振込手数料、会議費用等
(5)ICT運用	15,000	200,000	△ 185,000	難聴言語部(全国大会)
研究調査費	60,000	41,000	19,000	発達情緒部・難聴言語部
(1)謝 金	20,000	10,000	10,000	発達情緒部、難聴言語部
(2)資料費	25,000	15,000	10,000	発達情緒部、難聴言語部
(3)通 信	5,000	5,000	0	発達情緒部案内郵送
(4)需 用	10,000	11,000	△ 1,000	難聴言語部(関東難言分担金)
研究成果刊行費	3,000	11,000	△ 8,000	
(1)資料費	1,000	5,000	△ 4,000	申請、報告書、編集関係
(2)通 信	1,000	5,000	△ 4,000	文書発送・郵送料
(3)需 用	1,000	1,000	0	消耗品
周年誌積立金	50,000	50,000	0	
予 備 費	4,161	7,868	△ 3,707	
総 計	209,161	412,868	△ 203,707	

上記の通り、提案いたします。

令和 6年 6月14日

埼玉県特別支援教育研究会 会長 井上 弘江